

平成 30 年度 社会福祉法人鑑石園 法人本部 事業報告書

1. 事業運営の概況

改正社会福祉法が施行されて 2 年目を迎え、社会福祉法人の存在意義が問われている中、広報誌やホームページ等での情報開示により事業運営の透明性の向上を図ると共に、民生委員をはじめ地域の諸団体との連携を強化し、地域福祉のニーズに対応した適切なサービスと情報の提供に努めました。

平成 30 年度は、介護報酬の改定により平均 0.54% のプラスとなったことから、法人全体の収入は増額されましたが、事業別には、多床室のショートステイと通常規模デイサービス、ヘルパーの生活援助が減額となり、鑑石園ショートステイ、うさみの園デイサービスセンター及びヘルパーステーションについては厳しい状況となりました。

職員に関しては、全国的にも介護人材不足が深刻化しているなか、富士市内においては新規事業所の開設も影響して既存施設の退職者が増加し、富士まかどでは職員不足から施設、ショートステイ共に満床を維持する事ができない状況となりました。一方、うさみの園では介護職員の新規採用者が徐々に増加し、前年度職員不足により止むを得ず行っていたショートステイの受入制限を解除することができました。

今後も人材確保等については厳しい状況が続くことが予想されておりますが、利用者本位のサービスの提供に努めると共に効率運営を進め、経営の安定化を図ってまいります。

2. 事業実施状況

平成 30 年度の主な実施内容は次のとおり

5 月	28 日	監事監査
	30 日	第 1 回理事会
6 月	20 日	定時評議員会
9 月	27 日	第 2 回理事会
11 月	28 日	監事監査
12 月	12 日	福祉サービス第三者委員会（鑑石園・富士まかど）
1 月	16 日	第 3 回理事会
	24 日	苦情対応委員会（うさみの園）
3 月	27 日	第 4 回理事会